

テトテトテトテト



校長だより 2024. 3. 22 最終号

1年間、ありがとうございました

3月12日(火)卒業式を行いました。4年ぶりに来賓の方々をお迎えし、保護者、在校生、教職員そろって、4名の卒業生の門出を祝うことができました。

小学部卒業生2名は、あいさつ名人でした。心のこもったあいさつは、いつも私たちを元気づけてくれました。そして、小学部のリーダーとして、みんなのために一生懸命考え、行動する姿は、とても立派でした。自信をもって、中学部に進んでほしいと思います。

中学部卒業生は、「手話学習会」や「松ろう防災の日」など、たくさんの人の前で堂々と発表していました。誰にでも優しく接し、下級生から頼りにされる先輩でもありました。友だちと意見を出し合い、協力して企画・運営した経験や学びを、高等学校でさらに深め、広げてくれることを期待しています。

高等部卒業生は、3年間、勉強と部活に真剣に取り組みました。また、学校生活の様々な課題を解決しようと、自ら提案し行動する姿も素晴らしかったです。特に、進路について、悩みながらも自分と向き合い、粘り強く挑戦し続けたことは、大きな自信となり、今後の心の糧にもなることでしょう。自分が選んだ新たなステージで、「自分らしさ」を存分に発揮してくれることでしょう。

さて、今日はそれぞれの学年の締めくくりの日となりました。終業式では、子どもたち一人一人の成長を祝い、1年間のがんばりを誉め、4月からの新しい学年での生活に希望をもってほしいと話しました。

今年度は「子どもを主語にした学校づくり」を目標に、子どもたちの考えや思いを大切にしながら新たな学校行事や教育活動をみんなで創ることができました。試行錯誤の日々でしたが、失敗を恐れず、勇気をもって、みんなで挑戦したことが、何よりの学びであり、成長であったと思います。

子どもたちも教職員も、笑顔あふれる素晴らしい1年となりました。これも保護者、学校運営協議会委員、地域の皆さまが「チーム松ろう」の一員として、本校の教育活動へのご理解とご協力を惜しみなく続けてくださったからです。1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

松ろうの魅力・・・乳幼児相談「ことりぐみ」から見えるにじ

